赤磐市議会だより

令和７年12月議会　第84号





赤磐市議会ホームページ

（議会中継）　（会議録）　（市議会だより）

赤磐市議会　検索

ホームページでは議会の情報や、本会議、委員会の中継を配信しています。

CONTENTS

12月定例会のあらまし…… 2P
委員会のうごき …… 5P
13人の議員が一般質問 …… 8P

12月定例会のあらまし

議案審議

12月定例会を11月26日から12月17日まで22日間の会期で開催した。議案20件中、20件を可決した。請願4件中、1件を継続審査、1件を採択、2件を不採択とした。
また、議員提出議案3件中、2件を可決、1件を否決した。

令和７年度補正予算（一般会計・特別会計・事業会計）10億3146万円の増額補正を可決

一般会計（６億6966万円増額）（第４号）

主な内容（歳出）

・桜が丘いきいき交流センター運営管理事業（１億7991万円増額）
・自立支援給付費事業（１億4465万円増額）
・その他体育施設管理費（１億3375万円増額）
・図書館施設維持管理事業（4605万円増額）
・障害児施設支援給付費事業（4114万円増額）
・道路改良事業（3766万円増額）等

一般会計（３億928万円増額）（第５号）

主な内容（歳出）

・物価高騰対応子育て応援手当支給事業（１億4432万円増額）
・保育園運営事業（１億696万円増額）
・水道事業会計繰出事業（5699万円増額）
・一般管理費（児童福祉総務費）（100万円増額）

国民健康保険特別会計（4133万円増額）（第３号）
介護保険特別会計（99万円増額）（第２号）
下水道事業会計（919万円増額）（第１号）
水道事業会計（99万円増額）（第１号）

議第79号　周匝保育園新築工事請負変更契約の締結について

問　当初予算から２２００万円の増額で、工事中に軟弱な地盤が確認され追加工事が必要になったとの説明があったが、この部分も事前に予算計上を行うことができなかったのか。

答　ボーリング調査や測定試験を実施していない箇所に軟弱な地盤が認められ、設計変更し対策を講じる必要が発生し、この不測の事態により工期延長が必要となり、工事請負額の増額変更が生じた。

議第85号　赤磐市熊山英国庭園条例の一部を改正する条例

問　展示室の利用条件、利用目的に制限等は設けられているのか。また、展示物販、小規模なマルシェ、ヨガ、ストレッチ体操にも活用できるのか。

答　展示室で、物品の販売、撮影など幅広い事業や活動に応じて事前に許可を取ることで利用が可能となっているが、公共の秩序を乱すような行為、また、施設及び設備を損傷する恐れのある内容については利用を禁止している。

問　料金が1時間あたり１０１０円と設定されている。営利を目的とする展示会や物販などがあるが、料金設定の根拠、また、他の施設との兼ね合いは。

答　利用状況や内容等を考慮し、庭園内の他のスペースとの比較が適当と考え、同じように使われている体験棟や木工室と同等の金額設定としている。


熊山英国庭園

請願

請願第７号　「小規模事業用電気工作物」の新設に伴う条例等の改正及びエネ庁の法令違反取締り運用開始に伴う赤磐市太陽光発電設備法令違反通報制度の設置要望について　【継続審査】

請願第８号　少人数学級の拡充及び教職員定数改善、「カリキュラムオーバーロード」の改善をはかるための、２０２６年度政府予算等に係る意見書採択の請願について　【採択】

【賛成討論】　（２人）

▽赤磐市教育振興基本計画では学校教育において主体性、多様性、非認知能力の向上などを重視した内容となっているが、多人数学級では主体的活動をさせることは難しく、少人数でないと一人一人の個性が発揮できない。令和６年度の日本の不登校児童生徒数は約35万人。子供の自殺も過去最多である。教職員の数も減少し続けている。この問題を解決しなければならない。よって賛成する。

▽これからの子供、先生のために少人数学級の拡大、先生の確保、カリキュラムオーバーロードの改善は不可欠である。改善を促すために、地方議会から国に意見書を出すことは有効である。よって賛成する。

発議

発議第８号　赤磐市民が負担している「し尿汲み取り収集運搬手数料」についての意見書　【可決】

【要旨】

令和８年４月１日からし尿汲み取り手数料が改定される。収集運搬手数料が１００リットルあたり１１００円から１８７０円と１・７倍の大幅な値上げで、利用している市民にとっては家計に響く大きな出費となる。市民が安心して生活ができる環境を整えるため、次の事項について赤磐市に要望する。

①今回の大幅な値上げに対して、少なくとも値上げ額の半額程度を補助すること。

②補助対象期間を令和８年４月１日からとすること。

③補助期間を最低でも１年間は行うこと。

④半年経過後、次の１年間の補助について検討を行うこと。

【意見書提出先】

赤磐市長

発議第10号　少人数学級の拡充及び教職員定数改善、「カリキュラムオーバーロード」の改善に係る意見書　【可決】

【要旨】

子どもたちの豊かな学びや教職員の働き方改革を実現するためには、少人数学級の拡充、教職員定数改善が不可欠である。また、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多となり、子どもや教職員に過大な負担がかかっている状態（カリキュラムオーバーロード）の解消が求められる。地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、次の措置を講じるよう強く要請する。

①高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、小学校・中学校・高等学校における30人学級等さらなる少人数学級について検討すること。

②学校の働き方改革・長時間労働縮減を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数の改善を推進すること。

③自治体で国の標準を下回る学級編制基準の弾力的運用ができるよう加配の削減は行わないこと。

④新規採用を持続的に確保し、教職員が専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、教職員の給与を含めた処遇改善に必要な財政措置を講じること。

⑤子どもたちのゆたかな学びを保障するために、学習指導要領の内容の精選等を行い、「カリキュラム・オーバーロード」を早期に改善すること。

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

令和７年12月第６回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案　　件	議決結果	横山裕太	行本大輔	田村　勝	中田浩二	杉野千秋	安藤利博	永徳省二	佐藤　武	佐々木雄司	光成良充	保田　守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田　勲	実盛祥五	佐藤武文
議第７８号	赤磐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第７９号	周匝保育園新築工事請負変更契約の締結について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第７号	「小規模事業用電気工作物」の新設に伴う条例等の改正及びエネ庁の法令違反取締り運用開始に伴う赤磐市太陽光発電設備法令違反通報制度の設置要望について	継続審査	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第８号	少人数学級の拡充及び教職員定数改善、「カリキュラムオーバーロード」の改善をはかるための、2026年度政府予算等に係る意見書採択の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	—
請願第10号	赤磐市軽自動車税減免対象となる障害等級見直し依頼についての請願	不採択	○	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	—
請願第11号	赤磐市会計年度任用職員の給与等に関する給与条例第29条の改正依頼についての請願	不採択	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
発議第８号	赤磐市民が負担している「し尿汲み取り収集運搬手数料」についての意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第９号	赤磐市議会政治倫理審査会の設置を求める議決案	否決	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	除斥	●	●	○	—
発議第10号	少人数学級の拡充及び教職員定数改善、「カリキュラムオーバーロード」の改善に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	—

○＝賛成　●＝不賛成
※佐藤武文議長は地方自治法第116条第２項の規定により議決に加わることができません。
※発議第９号について、原田素代議員は地方自治法第117条の規定により除斥となります。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案　　件	議決結果
議第80号	赤磐市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第81号	赤磐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第82号	赤磐市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第83号	赤磐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第84号	赤磐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第85号	赤磐市熊山英国庭園条例の一部を改正する条例	可決
議第86号	赤磐市下水道条例の一部を改正する条例	可決
議第87号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について	可決

議案番号	案　　件	議決結果
議第88号	岡山県市町村税整理組合規約の変更に係る許可申請について	可決
議第89号	竜天くついし夢の里コミュニティハウスの指定管理者の指定について	可決
議第90号	地域活動支援センターあかさかの指定管理者の指定について	可決
議第91号	令和７年度赤磐市一般会計補正予算（第４号）	可決
議第92号	令和７年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	可決
議第93号	令和７年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第２号)	可決
議第94号	令和７年度赤磐市下水道事業会計補正予算(第１号)	可決
議第95号	財産の処分について	可決
議第96号	令和７年度赤磐市一般会計補正予算（第５号）	可決
議第97号	令和７年度赤磐市水道事業会計補正予算（第１号）	可決

３月議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21
			本会議（議案上程）	休会（予備日）		
2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28
		本会議（一般質問）	**本会議（一般質問）**	**本会議（一般質問）**	休会（予備日）	
3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7
	本会議（質疑・委員会付託）	**厚生文教常任委員会**	**産業建設常任委員会**	**総務常任委員会**	**予算常任委員会**	
3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14
	予算常任委員会	**予算常任委員会**	休会（予備日）			
3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21
	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）					

※この日程は予定です。正式日程は、２月10日開催の議会運営委員会で決定します。

予算常任委員会

12月11日、17日に予算常任委員会を行った。議案6件について審査した。

一般会計

FM管理事業に400万円増額

問 雷による損害の補正予算だが、中継局に対して、サージ対策・落雷対策はどうなっているのか。

答 避雷針の設置はあるが、外部から（地中から）入るものに対しての対策が不十分だったと認識している。

問 保険はどうなっているのか。

答 保険の手続き中である。

問 現状はどうなっているのか。聞こえないのか。

答 業者に予備の機械を設置してもらい、電波の発信はできている。

常備消防費に288万円増額

問 火災警報器の貸与について申請の条件、個数、単価、具体的な申請方法は。

答 火災による犠牲者をなくす事を目的とした事業で、65歳以上の非課税世帯が対象である。寝室等設置の必要な場所へ申請に基づき貸与する。1個3000円程度の物で、申請書を消防本部へ提出してもらう予定。ホームページからも申請できるようにしたい。

問 告知方法は。

答 パンフレット等を関係各所へ配布し、赤磐市公式LINE、SNS等でも発信する。

自立支援給付費事業に1億4465万円増額

問 利用者の増加に伴う増額だが、当初予算から約13％の増額になる。

どのような支援事業での増加なのか。

答 当初予算では、今年度の利用者増が不透明なところもあり最低限で計上したが、今年度も増加傾向にあり補正予算を計上した。

増加の内訳は、グループホーム、就労継続支援B型作業所、短期入所の利用者、それらのサービスの利用が、年々増加をしている。合わせて利用者1人当たりのサービス利用量も増加している。

母子保健事業に100万円増額

問 今回の増額は不妊治療の助成事業だが、不妊治療は2022年に保険適用になっている。助成となる対象者と、助成内容は。

答 不妊症のため子供を持つことができない夫婦に対して、不妊治療のうち保険が適用される生殖補助医療（男性不妊治療含む）に係る自己負担額に対し医療費の一部を助成する。

対象は、夫婦の少なくとも一方が本市に住所を有し、治療期間初日の女性の年齢が43歳未満であること。

助成内容は、医療費として支払い、高額医療費等を除いた自己負担額の2分の1以内で1回当たり10万円を上限として助成をする。

問 何回まで助成されるのか。

答 治療計画に基づき胚移植術等に至るまでを1回とし、子供1人に対して6回までとしている。

問 不妊治療の対象となる人にどのように伝えていくのか。

答 告知の仕方にはいろいろと配慮し、文言などにも注意しながら、広報やホームページで案内をしていく。

感染症予防事業に200万円増額

問 今回認定された新型コロナワクチンの接種による健康被害の給付金について説明を。

答 令和4年8月に新型コロナワクチンを接種して、接種直後から、接種した左側上腕部、関節周囲の痛みを発症し、令和4年9月から通院して現在も通院してリハビリを続けている。

令和6年10月に健康被害の申請をしたいという申し出があり、市のほうで調査をして令和7年1月に国に進達をした。本年10月に認定結果の通知が来たという状況である。

問 赤磐市の健康被害認定の申請状況について説明を。

答 これまで健康被害の申請者が累計で22人、そのうちの認定結果が出たのが19人で、認定されたのが4件、結果が出ていないのが3件ある。

図書館施設維持管理事業に4605万円増額

問 中央図書館の照明のLED化改修工事はいつ頃から行うのか。閉館の計画はあるのか。

答 入札後の契約が3月の予定で、工事はそれ以降になる。工事期間は6カ月程度と考えている。極力閉館はせず、各部屋の使用中止で進めていく。

道路改良事業に3766万円増額

問 岩田長尾線の改良工事の具体的な説明を。

答 国からの交付金が追加割当てされるた

め、歳出の予算を補正した。社会整備総合交付金という国の国庫補助事業の補助金。内容は民間開発のエリアではなく、県道岡山吉井線から長尾に向けて南側の場所への、盛土工など。来年度末の完了を目指して進めている。

問 どのぐらい盛土をするのか。

答 県道の高さで、山陽自動車道の高架のところまでつなげる。ただし、両宮川を超える部分については、いったん上がって、また下がるという格好になる。

児童福祉総務費に100万円増額

問 放課後児童クラブは結構数があったと思うが、100万円だと1クラブに補助金が10万円もないのではないか。

答 1クラブ上限5万円、20クラブで見込んでいる。

児童措置費に1億4432万円増額

問 子育て世帯を支援するためゼロ歳から高校3年生までの子供たちに1人当たり2万円支給するとあるが、高校に進学していない子供たちはどのような形になるのか。

答 児童手当の上乗せなので、高校に行っていなくても保護者が監護し、児童手当を受けられる場合は受給する権利がある。

問 いつ頃振り込まれるのか。

答 2月に振り込む計画である。

保育園運営事業に1億696万円増額

問 保育園での使用用途に条件があるのか。先生の給料などに充てられないのか。

答 人件費に反映されると市としては考えている。

事業会計

水道事業会計繰出事業に5699万円増額

問 重点支援地方交付金で水道の減免に使うということなのか。

答 水道料金の基本料金を2カ月分減免する。

下水道修繕料に800万円増額

問 山陽処理区の管路老朽化による修繕費を増額するとのことだが、どこか不具合があったからなのか。

答 4月に桜が丘西地区で発生した下水道管の陥没事故に対しての修繕に、当初予定していた予算を使用した。熊山の真空ステーションの修繕工事、各地区のマンホールポンプの修繕工事を今回の増額補正で行いたい。



下水管修繕工事

総務常任委員会

12月8日に総務常任委員会を行った。議案4件、請願2件について審査した。

赤磐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 投票立会人等の報酬も最低賃金法に縛られるのか。

答 縛られない。

問 国の法律改正によるものだが、全国一律か。

答 一律である。

赤磐市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

問 旅費に関する法律改正によるものだが、上限を超えるものについてはどうなるのか。

答 その都度協議する。

赤磐市軽自動車税減免対象となる障害等級見直し依頼についての請願

主な意見

・赤磐市は国からの通知のとおりの運用をしているということなので、現状維持の運用方法でよいと思うので、不採択とすべき。

・赤磐市は国の施策に対して、その流れで行っている。今までどおりでよいと思うので、不採択とすべき。

・他市町と比べて赤磐市が特段劣っていることもないと思う、今までどおりでよいと思うので、不採択とすべき。

・国からの指示どおりしている。今までどおりでよいと思うので、不採択とすべき。

・赤磐市でも他市と同様に両上肢、両下肢が7級の場合は6級扱いになる。今の状況でよいと思うので、不採択とすべき。

赤磐市会計年度任用職員の給与等に関する給与条例第29条の改正依頼についての請願

主な意見

・このままでよいと思うので、不採択とすべき。

・赤磐市がやっているとおりでよいと思う

ので、不採択とすべき。
・現状の運用でよいと思うので、不採択とすべき。
・現状のまま運用していけばよいと思うので、不採択とすべき。
・請願にある任命権者の独立性は、赤磐市は保たれているように思う。今の赤磐市のやり方でよいと思うので、不採択とすべき。

厚生文教常任委員会

12月9日、厚生文教常任委員会を行った。議案6件、請願2件を審査した。

周匝保育園新築工事請負変更契約の締結について

問 契約前、基準に基づいた地盤調査を行って契約をしたと思うが、その基準の調査から外れたところに問題があったのであれば、基準を見直すべきではないのか。

答 標準的な調査として、強固な岩盤に到達するまでのボーリングを2カ所、その他8カ所で、地盤の固さを測定する試験を行った。長年宅地の状態で、しっかりとした地盤であろうということで、標準的な設計、標準的な調査になっていた。



周匝保育園新園舎イメージ

竜天くついし夢の里コミュニティハウスの指定管理者の指定について

問 地元の人が運営をしていると聞いているが、指定管理が始まってからずっとこの状態で任せているのか。

答 施設ができた当初から指定管理で任せている。

問 指定管理の期間が5年間だが、安心して任せられる、解散しない保証があるのか。

答 契約書や仕様書の中に5年と記載している。確約はできている。

「小規模事業用電気工作物」の新設に伴う条例等の改正及びエネ庁の法令違反取締り運用開始に伴う赤磐市太陽光発電設備法令違反通報制度の設置要望について

主な意見
・請願をすべてがんじがらめでやるのではなくて、もう少し絞って議論をしていく必要があり、継続的に研究していきたいので、継続審査にすべき。
・地域の反対があるにもかかわらず、業者の思うままになっている。まずはその最低限のことから始めてもらいたいと思うので、採択すべき。
・請願をもとに私たち自身が災害を想定することも含めて、ソーラーパネル設置の問題について検討するべきだと思うので、採択すべき。
・8項目にわたって請願され、非常に多岐にわたっている。まだまだ研究する必要があると思うので、継続審査にすべき。
・項目が多く、それぞれ結論を出していこうということであれば、もう少し時間が必要である。総合的に判断したいので、継続審査にすべき。

産業建設常任委員会

12月10日、17日に産業建設常任委員会を行った。

議案3件について審査した。

赤磐市熊山英国庭園条例の一部を改正する条例

問 新たに展示室の貸し出しをするとのことだが、使用料の設定基準は。

答 木工室が約70㎡、展示室が約100㎡であるが、どちらも展示・販売・講座など多目的な利用が可能。展示室も同様の利用目的であるため、木工室と同じ使用料にしている。

赤磐市下水道条例の一部を改正する条例

問 今回の改正で追加するのは岡山県内の指定工事店か。

答 県内という縛りはなく、県外の指定工事店でもよい。

問 災害・その他非常の場合とは、どのような想定をしているのか。

答 災害に限らず、例えば、老朽化した下水道管の大規模破裂や、道路の陥没なども考えられる。



赤磐市竜天天文台公園「初日の出を迎える会」

一般質問



市の考えを問う

13人の議員が登壇し市の考えをただしました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項
永徳　省二 9ページ	・何もないまち赤磐市について ・認知症対策について ・いじめ・不登校について
安藤　利博 9ページ	・情報システム標準化、ＤＸ推進について ・高齢者の見守りについて ・観光資源の整備について
松田　勲 10ページ	・企業誘致について ・空き家・空き地の対策について
田村　勝 10ページ	・令和７年６月第４回定例会のその後について ・令和７年９月第５回定例会のその後について ・「令和７年６月議会市長所信表明」安心で豊かな子育て支援、教育について ・「令和７年６月議会市長所信表明」持続可能な特色ある地域創生について ・「令和７年６月議会市長所信表明」地域を支える産業、観光振興について
杉野　千秋 11ページ	・公共ゾーンに資料館を ・補聴器補助の増額改善を ・体育館だけではなく武道館のエアコンは
原田　素代 11ページ	・重度心身障碍者、重症心身障碍者への政策 ・下水道の老朽化対策の採算性の見通し、下水道事業の見直し
光成　良充 12ページ	・福島県浪江町への今後の取り組みは ・赤磐市の経済対策について ・新拠点整備について ・特殊詐欺被害について
治徳　義明 12ページ	・防災・減災対策について ・街路樹、公園、緑地の樹木の老朽化・更新対策について ・コメ・クーポン導入について ・熱中症対策について
保田　守 13ページ	・バス停の改良工事について ・山陽公民館のラジオ体操愛好家の使用について
横山　裕太 13ページ	・赤磐市の教育について ・笹岡小学校跡地利用について ・中山間地域の農業振興のための財源確保について ・オーガニックビレッジ宣言について
佐藤　武 14ページ	・機構改革について ・新拠点整備事業について ・バリアフリー化について ・文化活動について ・山陽郷土資料館について
行本　大輔 14ページ	・通学路への防犯カメラの設置について ・学校施設の適正化について
大口　浩志 15ページ	・水道事業について ・遊具について ・農家支援策について ・人事交流、その後について ・各種委員について

表紙の一言

令和７年11月８日、石相小学校創立150周年記念イベントが開催され、記念式典や演奏、学校の歴史展示など多彩な催しが行われました。

学習発表会やあかいわWINDによる演奏に大きな拍手が送られ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。石相小学校は令和８年４月に赤坂小学校として生まれ変わることになり、石相小学校での思い出を共有し、地域と学校の深い絆を実感する心に残るイベントとなりました。



永徳省二議員

赤磐市の認知症対策について

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 市の予防対策は。

答 地域包括支援センターとともに認知症予防に関連する教室、出前講座を開催し、啓発活動などに取り組んでいる。

問 福祉サービスはどのようになっているのか。

答 認知症により徘徊のおそれがある人にGPSの購入費の助成や地域の見守りネットワーク、これらを活用しての見守り支援体制を整備している。

問 相談体制は。

答 地域包括支援センターが認知症の相談窓口として活動。認知症カフェという事業で、認知症の人や介護者が専門職に相談できる体制を整えている。

問 共生社会実現のための施策やバリアフリー化の推進については。

答 認知症の人を温かく見守り支援する認知症サポーター、これを地域や職域で増やす活動を進めている。

問 家族への援助体制は。

答 包括支援センターによる相談支援の提供のほか、介護者教室なども実施している。

いじめ・不登校について

問 文部科学省が昨年度の問題行動・不登校調査の結果を公表した。赤磐市の状況は。

答 全国・県と比べて、いじめは下回り、暴力行為は上回っている。（下記表参照）

問 身体的被害や長期欠席などが生じた重大事態の件数は。

答 重大事態は、3件。

問 いじめ・不登校のゼロ報告の学校は。

答 数校でいずれかがゼロの報告がある。

問 警察官が学校を巡回して非行防止に当たる、学校と警察連絡係との連携は。

答 赤磐警察署から学校に、制服で来て見て回っている。

小学校

	いじめ	不登校	暴力件数
2024年度	81	44	69
2023年度	87	50	29
2022年度	64	43	36
2022年比の増化数	+17	+1	+33

中学校

	いじめ	不登校	暴力件数
2024年度	42	75	24
2023年度	53	61	31
2022年度	41	51	12
2022年比の増化数	+1	+24	+12

いじめ・不登校の表



安藤利博議員

備前国分寺跡周辺を歴史公園として整備を

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 備前国分寺跡、両宮山古墳周辺を観光資源として生かすためには、雑草の草刈りとともに進入路、駐車場、トイレがなければ観光客は来られない。いつ整備するのか。

答 土地の確保や管理手法等に課題があり、早急な整備は困難である。所管の関係部署と協議しながら方向性を検討していく。

問 両宮山古墳の後円部の周濠、外濠の整備も行い、史跡周辺一帯を「備前国分寺風土記の丘公園」として整備しないか。

答 周濠については公有化も含めて検討する。観光資源整備の気持ちはあり、県議会議員と共に進めていきたい。

問 山陽郷土資料館は小学生の地域学習の場としても備前国分寺跡周辺に移設しないか。

答 移転場所を含め、議論する必要がある。造山古墳ビジターセンターが有効的で人気があるのは承知している。

情報システム標準化

問 3割削減できるはずのシステム運用経費が2倍になる。これでは来年度予算が作れない。財政措置を国に求めるべきではないか。

答 市長会も中国、全国で要望を上げている。

高齢者の見守り

問 社会的孤立を防ぐには、地区ごとに独居高齢者が何人いるかを把握するのは対策の出発点。規定も整え、町内会に名簿を提供し協力を依頼しないか。

答 現状把握は重要。名簿等の活用も重要だが、個人情報もあり意見として聞く。

問 計画には、在宅高齢者対策は老人クラブ等と連携するとあるが。

答 老人クラブの活躍は期待している。老人会への加入もアピールし支援していく。



雑草が茂る備前国分寺跡



松田　勲議員

大型商業施設等への誘致奨励金の見直しを

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問　大型商業施設の誘致をはじめ、現在の新拠点整備事業の進捗状況はどうか。

企業誘致には企業にとっても魅力となる条件、政策が大きく影響すると考える。①交通アクセス②人材の確保③提供できる用地の確保④誘致を促進する市独自の政策や支援制度。

特に大型商業施設等に対応した奨励金の基準を見直す必要があるのではないか。

答　現在、企業誘致奨励金、企業立地促進奨励金、物流施設誘致促進奨励金、宿泊施設誘致奨励金制度がある。対象は製造、研究、物流、宿泊である。優良企業の誘致には奨励金制度の充実は大変重要なものと認識し、今後も検討をしていく。

新拠点の公共ゾーンは、用地買収の年度内完了を目指して進めている。民間開発エリアの西側は、造成工事が始まり、令和8年3月末完成予定である。造成完成後にナカシマの関連企業が土地取得に前向きに進んでいる。

空き家、空き地問題積極的な対策を

問　管理されていない空き家・空き地に、困っている住民が増えている。特に住宅が密集している山陽団地や桜が丘地域では、深刻な状況である。もう少し効果的な対策を進めていくべきではないか。

答　令和5年7月から赤磐市環境美化条例に空き地に関する規定が追加され、土地の所有者に対し適正管理に努めるよう指導等を行っている。令和6年度では、165件の要望に対し、現地確認の上62件の指導及び26件の勧告をしている。桜が丘地域の空き家に対する苦情は、令和7年度で17件ある。従わない場合は、証拠書類を整え措置命令を行い環境改善に努めていく。



開発が進む新拠点の埋め立て工事



田村　勝議員

住みよいまちづくりのために

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問　6月議会定例会その後の状況は。①『子育て支援について』②『勢力地内の吉井川堤防の草刈りについて』

答　①物価高騰で子育て世帯の負担が増す中、赤磐市は国県の財政を活用し、効果的な支援を検討する。

②吉井川堤防の草刈り、今後も継続・強化する必要がある。

問　9月議会定例会その後の状況①『災害対策（松木交差点浸水被害防止策）について』具体的な防止策は。②『福祉タクシー券の支給内容の見直しについて』どのような方向見直しを進めているのか。

答　①松木交差点の浸水防止のため、小野田川の土砂・支障木の撤去、改修等を県に要望している。②市民の意見を踏まえて対象範囲や枚数の見直しを進め、4月からの制度改正を検討している。

問　『教育施設の環境改善について』くまやまふれあいセンター、熊山武道館・熊山運動公園のトイレ改修について、温水洗浄便座の整備を進めるべき。

答　社会教育・体育施設のトイレ改修・洋式化の必要性は認識しており、対象施設が多いため順次進めていく。

問　『公共交通網の構築について』デマンド型市民バスで熊山地域からの利用可能区間の延長をするべきだ。

答　デマンド型バスは特性上、運行区域が拡大すると回送時間が長くなり、待ち時間増加や予約の取りづらさ等サービス水準が低下する恐れがある。引き続き効果的なサービス改善に努める。

問　農業振興策と、永瀬清子の生家・英国庭園など観光施設整備による地域活性化を問う。

答　農業経営者の育成、スマート農業による効率化支援等を推進する。観光資源を活用し、地域全体の活性化を図る。



勢力地内吉井川堤防繁茂する草木



杉野千秋議員

公共ゾーンに資料館を

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 山陽郷土資料館ができてから50年近くなり、温度・湿度の調節が難しい状態である。新拠点で発掘調査される曽根田遺跡で、貴重な資料が見つかる可能性があり、少なくとも今の倍の展示室が必要。資料館を建て直すベストチャンスではないか。

答 公共ゾーンの道の駅整備方針に人と観光資源、地域資源をつなぐ拠点づくりが示されている。山陽郷土資料館は大変重要な施設であるが、老朽化も課題になっている。移設については場所の確保が必要となるが、歴史文化財を総合的に理解できる施設の整備を前向きに研究したい。

補聴器補助の増額および改善を

問 15万円以上の額に対して3万円の補助では厳しく、非課税所得者しか受けられないのであれば、早い段階での購入を諦めるという意見を聞いたが、どのように考えているのか。

答 10月から事業を始めたばかりである。今後利用状況を見ながら、課題の整理をしていきたい。

体育館だけではなく、武道館のエアコンは

問 体育館のエアコン設置は来年度からであるが、各中学校の武道館や格技場のエアコン設置はどのようになっているのか。また、生徒が少なくなり利用しない場所が増えたと聞いているが、エアコンを設置することにより多様的な利用ができるのでは。

答 熊山武道館の空調設備に伴う工事費は12月議会に計上している。まずは避難所である体育館を優先的に実施する。そのほかの武道館、格技場については、有利な財源を調査しながら検討していく。



山陽郷土資料館



原田素代議員

重度・重症心身障がい児・者の政策について

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 デイサービスに対応している事業所はどれくらいあるのか。

答 医療的ケアに対応できる事業所は不足している。

問 災害時の課題は。

答 福祉避難所での医療的ケア対応、必要な機器の電源確保など運用面での体制づくりが必要である。

問 親亡き後の体制は。

答 入所できる施設の数には限りがあり、長期的な受け入れ先の確保などが課題である。

問 現場の当事者の不満を吸い上げて改善することが十分できてないのでは。

答 令和8年度に新たな計画の策定にあたり、その声を受け止められるような策定委員会、ワークショップや部会などを実践して計画を策定していきたい。

下水道事業の老朽化対策の費用の見通しは

問 老朽化による交換に係る維持管理費は。

答 50年が過ぎた下水管は、トータル11万4千km、事業費約114億円で、30年かかる。

問 新設の計画は。

答 下水道の事業認可区域732・1haのうち、83haを進めており、現在の予算状況が続けば、完成まで約11年の期間を予定している。

問 千葉県、茨木県、福島県などは、下水道事業を見直し、千葉県では過去10年で、3万haが合併浄化槽へシフトしている。山武市では、整備費や40年分の維持費に約13億円かかることから、効果が薄いと判断した結果である。赤磐市では整備費、維持費の40年先の試算はしているのか。

答 山陽地域では経費約95億円、期間は24年かかる。赤坂地域は約73億円、18年、全体では30年かかる。合併浄化槽に変えたほうが、整備費、維持費は安くなる可能性がある。



医療的ケアに対応できる泉学園



光成良充議員

国が示す経済対策に市はどう対応するのか

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 物価高騰で市民生活に影響が出ている。市は経済対策をとるべきだと思うが、どういう対策をとるのか。

答 物価高に大きく影響を受けている生活者や事業者への支援について、国が示す「推奨事業メニュー」や、これまでの物価高対策を参考に、市民の身近な分野に重点を置いた事業に取り組んでいく。

新拠点整備について

問 民間ゾーンの造成工事が始まり、令和8年3月末に西側エリア、翌年3月末に東側エリアが完了すると報告があった。今後、市はどう関わっていくのか。

答 市と開発事業者で覚書を締結し、事業の役割分担を定めた。民間事業者が行う開発や企業誘致は、都市計画や地区計画の方向性に沿った形で進めていくべきもので、企業誘致を行う際はこの方向性からそれないよう、連携を密に行い必要に応じて協力をしていく。

特殊詐欺被害について

問 被害がこの10年間で最悪となっているが、赤磐市はどのように対策を立てていくのか。

答 被害の多くを占める高齢者へ「特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助金」制度の周知を図り、赤磐警察署と連携し、被害に遭わないよう広報啓発や講座の開催を実施していく。

浪江町への支援は

問 来年は東日本大震災から15年目を迎える。今まで人的交流やイベントなどで支援してきたが今後の取り組みは。

答 これまでの関係を維持し、連携事業を着実に実施することが重要で、今後も人的支援などで関係を深め、両市町のさらなる発展を目指していく。



国の総合経済対策概要



治徳義明議員

赤磐市独自の「防災アプリ」の導入は

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 災害時の被害軽減等のためには、市民に正確で迅速な情報を伝えることは重要な課題である。さまざまな機能を持つ市独自の「防災アプリ」の導入は。

答 来年度より運用を開始する。

問 災害時に外国人の住民を守るためには、多言語対応機能も必要である。

答 7種類の言語に対応する。

問 高齢化が進む中、福祉的な支援の視点に立った避難所のＴＫＢの環境整備が必要では。

答 衛生面に配慮したトイレの備蓄が足りないので、拡充に努める。

問 幼稚園の非構造部材の耐震対策は。

答 順次整備する。

重点支援地方交付金

問 国の経済対策の食料品の物価高騰に対する推奨メニューで、おこめ券が明記されているが、赤磐市には米農家も多くある。米だけでなく、全てに使える商品券等の推奨メニューに取り組むべきでは。

答 本市の実情に適した支援策を速やかに検討する。

問 支援策の大きな課題である即効性と事務コストの削減のために、「地域通貨」の調査・研究が必要では。

答 慎重に検討する。

災害級の暑さ対策

問 子育て世代から、「夏場に子供を遊ばせる場所がないので困っている」との声が大きい。子供たちが安心して遊べる屋内の施設が必要では。

答 計画中の道の駅の遊び場の機能の充実も含めて、課題解決に向け調査・検討する。

問 物価高騰に伴いエアコンを必要以上に控えるケースがある。経済対策が必要では。

答 さまざまな検討をする。



避難所のＴＫＢとは



保田　守議員

バス停の改修工事について

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問　6月議会定例会で改修工事を取り上げ、随時取り掛かっていくとの答弁があった。地域の人から、いつ頃できるのかという声が上がっている。その経過について聞かせてもらいたい。

答　6月議会定例会で質問をもらい、その後現地の確認を行った。バス停ができたのが古く、現在の道路構造令に照らし合わせると、基準を満たしていないバス停が5カ所あることが確認できた。その5カ所のうち、利用者が多い山陽西小学校前のバス停の改修工事を今年度3月までに終わらせるということで、今は発注が終わっているところである。残る4カ所については、来年度舗装修繕と併せて、今の道路構造令に合致したバス停の形状に補修するための予算要求する予定である。

山陽公民館でのラジオ体操について

問　山陽公民館を利用してラジオ体操をしていた人から、突然使用を禁止されたと相談があった。私の想像だが、コロナの時期だったので、禁止ということにしたのでないかと思う。コロナ禍も過ぎているが、使用できる連絡はしているのか。

答　以前から山陽公民館の駐車場でラジオ体操を行っていることは確認している。コロナ禍も明け、ラジオ体操再開のため、山陽公民館の駐車場を例年どおり使用したいと相談があった。時間外の早朝からの使用のため安全面や管理面から一時断っていた経緯もあったが、住民の健康維持・地域の人のふれあい等を踏まえたうえで、安全等をしっかり確認しながら使用してほしいと回答をしている。



山陽西小学校前のバス停



横山裕太議員

学校教育について

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問　令和6年度の日本の不登校児童生徒は約35万人、12年連続で増加。理由は、やる気が出ない・不安など気分の問題が多く、学習の意義を感じられないという意見も多い。学力偏重は今の時代・社会のニーズにも合っていない。教育振興基本計画のとおり、多様性や主体性重視で進めるべきだが、今までの画一的な方針と真逆になる。現場への浸透方法は。

答　自分で学びを選べたり、学校でやりたいことができるような方法をとる必要もある。

笹岡小学校跡地利用

問　複合的教育施設「みんなの学び舎」として活用予定。コンセプトは「あなたらしさを大切に」。対象は不登校の児童生徒とのことだが、従来の教育以外の教育も選択肢にしてもらえないか。

答　登校や集団学校生活に不安を感じている子供を対象にしている。子供・学校・保護者で話し合い、適切な居場所を決めるべき。教育の選択を増やすことは、今後の検討課題。究・検討を進める。

中山間地域の農業振興のための財源確保

問　平地の農業を守るためにも中山間地域の農業振興は必要。その財源がないなら、ふるさと納税型クラウドファンディングで資金を募ってはどうか。

答　財源確保に有効な手段の一つとして、研

オーガニックビレッジ宣言

問　農林水産省の進めるオーガニックビレッジ宣言をして、有機農業を推進してはどうか。

答　条件に合う環境整備と住民の理解があるような地域があれば、バックアップしたい。



不登校理由、大学選抜方法、企業採用のデータ



佐藤　武議員

赤磐市の組織の見直しが必要ではないか

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 社会環境などが大きく変化する中にあって、市組織の見直しが必要ではないか。

答 迅速かつ的確な業務遂行とともに、きめ細かな市民サービス提供や戦略的な市勢推進に向けた組織構築を図っていく。

新拠点整備について

問 岩田・河本の公共ゾーン（道の駅）の用地買収進捗状況は。

答 難航しているケースもあるが、合併特例債の期限である令和8年3月31日までには進めていきたい。

文化活動について

問 文化振興ビジョンでは、社会教育団体等との連携を強化する計画となっている。NPO法人永瀬清子生家保存会については、6年前の議会答弁でも施設改修や周辺整備について取り組んでいくとの答弁であったが、何一つ支援策は講じられていない。国登録の有形文化財であり、観光施設の目玉として整備すべきではないか。

答 施設整備等で財政的支援はできていないのが現状である。

永瀬清子さんの顕彰を市としても十分やっていく必要があり、観光資源としても活用できると考えている。研究・検討を進めていく。

問 文化財の保護・伝承を担う山陽郷土資料館は老朽化、展示や学習スペースが狭く、機能を果たしていない。埋蔵文化財や美術品を鑑賞し、来館者増も期待できる資料館と美術館の複合施設の整備と、そのための基金を設置する考えはないか。

答 歴史や文化を総合的に理解できる施設が求められている。

基金という話もあったが、有利な財源等も検討し、実現に向けて研究していきたい。



山陽郷土資料館の展示品



行本大輔議員

通学路の防犯強化と学校施設適正化を求める

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

通学路への防犯カメラ設置について

問 現状と新設、増設に向けての取り組みはあるか。

答 平成27年に県の補助事業を活用し、市内の通学路32カ所に設置。現時点で新設、増設の計画はない。最近、連合町内会の要望を受け、桜が丘地内に1台新設をした。

問 市内全域で捉えると非常に少ないと思う。防犯カメラは、高齢者の見守りや風水害時の視点からも効果は十分にある。自治会に委ねるのではなく、市が今以上に主体となり、安心・安全なまちづくりを進めてはどうか。

答 必要な場所は要望に応じて、検討したい。

学校施設の適正化について

問 市内、幼小中学校の施設整備の進捗状況は。遅れている教育環境整備へのスピードアップが必要なのでは。

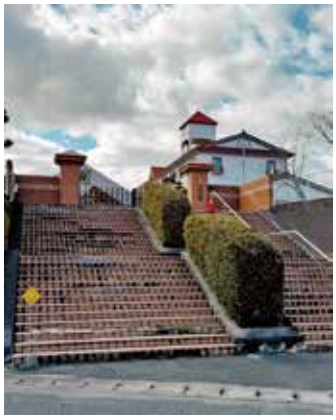
答 多くの学校で老朽化による修繕や設備の不具合等の問題が発生している。学校現場と情報を共有し、緊急性を見極め対応したい。

問 「子育てするならあかいわ市」とは大きくかけ離れた残念な学校環境を多く目や耳にする。すぐ対応できることも、なぜ先送りにするのか。犠牲者は子供たちであり、ぜひとも意識改革をお願いしたいと考えるがどうか。

答 しっかりとスピード感を持った形で、取り組んでいく。職員に対し意識改革、指導を教育長からも行いたい。子供が一番大事である。

問 来年度の予算編成に向け、長年の問題解決となる市長のかじ取り方針を尋ねる。

答 令和8年度予算は、学校に応えるべき予算を、皆さんに説明し、学校の環境整備をしっかりとしていきたい。



ロープのみで長期規制中の磐梨小学校正門



大口浩志議員

今後の水道事業は

問 現状の捉え方は。今後の方針は。

答 令和6年から値下げをしているが、シミュレーションが、出・入共に大幅に狂ってきた。令和6年度は赤字決算で、今後は料金の見直し等議論を進める。上下水道審議会も定期的・継続的にしっかりやっていく。

遊具について

問 安全管理は。今後の方針は。

答 日常点検は月1回、専門業者における点検は年1回実施。不具合が発見された場合は、早期に対応する。

農家支援について

問 果樹農家の支援策、現状は。今後の方針は。

答 現在、機械や施設を導入するための補助や認定農業者には5年間無利子の貸付補助等がある。今後も国県の補助メニューに注視し、支援策の検討を進める。

問 赤磐市の独自策をふるさと納税の一部を使ってできないか。

答 赤磐の特産品でもあるので、予算の配分を考える。

人事交流、その後について

問 国・県・市・町等と人事交流をしているが、その知見は生かされているか。

答 市長・幹部が率先して、他所で得た知見を生かせるよう、雰囲気作りも含め、今後も努めていく。

各種委員について

問 区長・町内会長に推薦依頼をしている各種委員について、どのように受け止めているか。今後の方針は。

答 区長・町内会長に負担をかけている。今後は、組織の一本化等も含め、早急により良い形を目指したい。



水道管の改修工事

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

議会報告会・意見交換会を開催しました

11月9日から18日にかけて、市内5会場で令和7年度赤磐市議会報告会を開催しました。ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。『みんなで話そう。まちづくりのこと』をテーマに、公共交通やバスに関すること、農業振興に関すること、子育てに関することなど日頃皆さんが感じていることをお聞きする、貴重な機会となりました。

また、もっと機会を増やして、議員全員がそろう会も企画してほしい、などの声もいただき、議会として多様な企画を検討してまいります。

○参加者数

・赤磐市立中央図書館　13人
・桜が丘いきいき交流センター　20人
・くまやまふれあいセンター　10人
・吉井支所　7人
・赤坂健康管理センター　4人

○議会報告会に対する主な意見

・それぞれの議員の資質が見てとれて非常に勉強になった。地域の皆さん、知人にこの会をお勧めしていきたい。
・参加者が少ないのにびっくりした。若者の参加者が少なく残念です。
・話があちこちするので、テーマを分けて意見を言ってもらえばわかりやすいのでは。
・今回いろいろな議題があり、次につなげてほしい。
・議員側からの発言中心でなく、市民の発言中心で良かった。出席議員の名前を会場ごとに発表してほしい。







総務常任委員会視察研修

総務常任委員会は10月9日に視察を行った。

10月9日
笠岡市
・「財政健全化プラン」の作成経緯と、その後の進捗状況について、説明を受けた。
・「DX推進計画・アクションプラン」の内容、進捗状況についての説明を受けた。



議会ICT推進委員会視察研修

議会ICT推進委員会は10月8日、10月14日に視察を行った。

10月8日
津山市議会
オンライン会議の取り組みについて、先進地である津山市議会を視察した。



10月14日
真庭市議会
オンライン会議の取り組みについて、先進地である真庭市議会を視察した。



厚生文教常任委員会視察研修

厚生文教常任委員会は11月13日、11月14日に視察を行った。

11月13日
香美市役所（高知県香美市）
資源ごみをリサイクルすると地域電子マネー「kamika」にポイント還元する実証実験について、香美市担当幹部より説明を受けた。



地域交流施設ほっと平山（高知県香美市）
旧平山小学校の廃校活用について、地域交流施設ほっと平山の開設までの経緯や現状について、香美市担当幹部より説明を受けた。



11月14日
安田町多目的交流センターなかやま（高知県安芸郡安田町）
旧中山小中学校の廃校利用について、多目的交流センターなかやまの開設までの経緯や現状について、安田町担当幹部より説明を受けた。



ハレとケ珈琲、ハレとケデザインホステル（徳島県三好市）
旧出合小学校の廃校利用について、三好市担当幹部より説明を受けた。



産業建設常任委員会視察研修

産業建設常任委員会は11月5日、11月6日に視察を行った。

11月5日
南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）
コストコ誘致に至るまでの経緯と市のかかわり方、ならびにコストコ進出後の状況等についての調査研究を行った。



11月6日
農の駅あぐらって長岡（新潟県長岡市）
・「農の駅あぐらって長岡」の設立目的・経緯・整備から実施までの流れ、その効果について
・スマート農業と小規模農家の取り組みについて
・農業支援センター等の施策について
・農業離れおよび新規就農者、後継者対策について等の調査研究を行った。



各委員会等の主な協議・報告事項は次のとおり

議会全員協議会

10月30日
- 赤磐市過疎地域持続的発展計画について
- 新拠点整備事業の進捗状況について

11月19日
- 令和7年12月第6回赤磐市議会定例会について
- 赤磐市過疎地域持続的発展計画について

12月1日
- 赤磐市議会ハラスメント防止要綱について

12月11日
- 日程追加について
- 赤磐市議会ハラスメント防止要綱について

12月25日
- 赤磐市議会会議規則等の一部改正について
- 赤磐市議会議員政治倫理条例第7条の規定に基づく審査請求について

赤磐市議会議員政治倫理審査会の設置

令和7年12月8日付けで議長に対し、議員の一人が「倫理基準に違反している疑いがある」として審査請求があり、12月25日に赤磐市議会議員政治倫理審査会を設置した。今後審査を進めていく。

赤磐市議会議員政治倫理審査会	
委員長	永徳省二
副委員長	光成良充
委員	田村勝 横山裕太

議会改革検討委員会

10月6日
- 議会改革に関する提案について

12月17日
- 赤磐市議会ハラスメント防止の規定について

まちづくり調査特別委員会

11月19日
- 事業の進捗状況について

議会ICT推進委員会

11月7日・12月11日
- オンライン委員会の検討について

新拠点整備計画調査特別委員会

10月21日・11月27日
- 今後の委員会の進め方について

赤磐市議会だより
令和7年12月議会　第84号　発行／令和8年1月29日
編集／赤磐市議会広報広聴委員会（広報部会）
発行責任者／赤磐市議会議長　佐藤武文
所在地／〒709-0898 岡山県赤磐市下市344番地
TEL(086)955-2945 FAX(086)955-5348

新年のごあいさつ



議長　佐藤　武文

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は議会の改選があり、多くの新人議員が誕生いたしました。議会も若返り、より活発な意見交換を行っています。

日々より、議会活動に対し、深いご理解とご協力に議員一同、厚くお礼を申し上げます。

私たちは、市民の代表としての責任の重さを自覚しながら議会活動に取り組み、信頼される議会、「議会が変わった」「良くなった」と実感していただける議会づくりを目指して、前進してまいります。

今年は午年であり、「万事ウマくいく年になりますように」と願っています。

赤磐市も合併し、20年の節目を迎え、2月に記念式典が予定されています。市民の皆さまにとって、満足いただける赤磐市に成長しているでしょうか。赤磐市のさらなる発展に向け、議会としても引き続き課題に取り組んでまいります。

また、「議会活動が目に見えない」との厳しいご意見を受け、昨年は5会場で議会報告会を実施いたしました。多くの人にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。いただいたご要望やご意見を行政に届け、施策に反映させていくことが議会の責務であると考えています。議会が果たすべき役割を着実に実践し、市民から求められることを一つでも多く実現できるよう、市民に寄り添い、わかりやすく開かれた議会の構築に努力いたします。

今年の二十歳の集いでは、赤磐市誕生の年に生まれた370人の皆さまが、立派に二十歳を迎えられました。希望に満ちた未来に心より祝福をお送りいたします。

本年が市民の皆さまにとりまして、幸多き良い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

ようこそ赤磐市へ



令和７年11月10日に、大分県宇佐市議会会派（求道会・宇佐みらいの会）が「エコプラザあかいわについて」の調査のため視察に訪れました。

編集後記

昨年は市議会にとって大きな転換の年となり、選挙を経て多くの新人議員が誕生しました。これにより、議会運営や市政へのアプローチも新しい視点を取り入れ、変化を迎えつつあります。市の課題は山積しており、これまでの方法では解決が難しい現状です。そのため、古い考えを見直し、行政と連携して柔軟で迅速な対応を目指したいと考えます。

我々議員は、市民の声を反映させる議会をつくるため、協力と努力を惜しみません。

さらに、ＳＮＳ等を活用した情報発信にも力を入れて、市民とのコミュニケーションを深め、議会の活動や市政の透明性を高めるため、双方向の意見交換の場として活用していく予定です。

今後とも、開かれた議会を目指し、皆さまのご期待に応えてまいります。市民の皆さまも我々と一緒に新しい赤磐市を目指すため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

広報広聴委員（広報部会）
部会長　光成　良充
副部会長　杉野　千秋
委員　大口　浩志
委員　中田　浩二
委員　行本　大輔
委員　横山　裕太